

## マグマックス 300

### 道糸をリールに巻きます「リールに巻く糸の長さがわかる編」

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。

#### 1. 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン (P.14参照) を使うとかんたんに通せます。

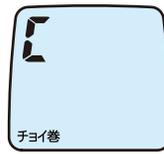
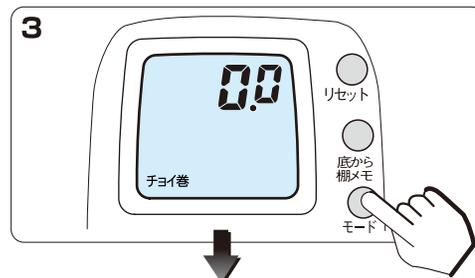
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

#### 2. パワーレバーをOFFまで戻します。

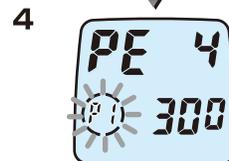
#### 3. リールを通电させ表示が **0.0** のときに **モード** スイッチを5秒間押し続けてください。

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。



#### 4. 初期画面になります。

(**P1** が点滅します。)



#### 5. もう一度 **モード** スイッチを押します。

(**P2** が点滅します。)

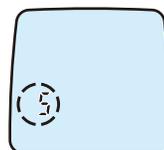
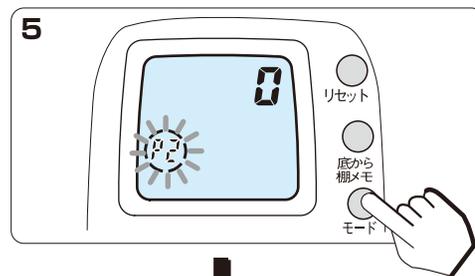
#### 6. パワーレバーをMAXの位置まで倒して道糸を巻きます。

パワーレバーを倒すと **P2** がテンション表示に変わります。

パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

巻き取りを始めると、上のカウンターの数値が増えていきます。(スピールの回転数を表示します。)

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。  
糸があたらないようにご注意ください。



7. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)

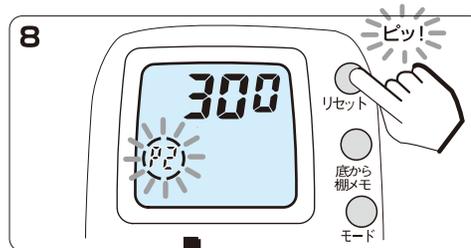


**注意**

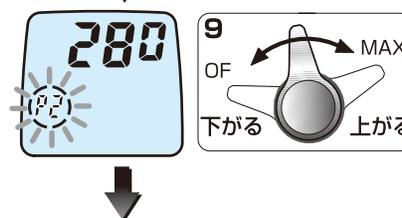
- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・この入力方法はPE2号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。



8. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が**300** になるまで押してください。(300は初期値です。)



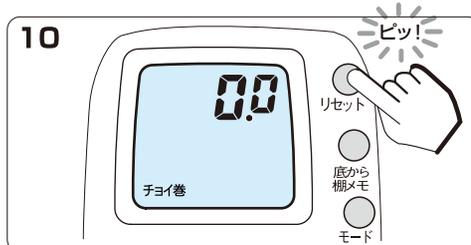
9. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。(図は、280m入力した場合です。)



10. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

(アラーム音が鳴り、表示が**0.0** になれば完了です。)

※ **Err** になった場合は、糸を抜いて手順3から再度入力をしてください。**モード** スイッチを押せば、**0.0** に戻ります。)



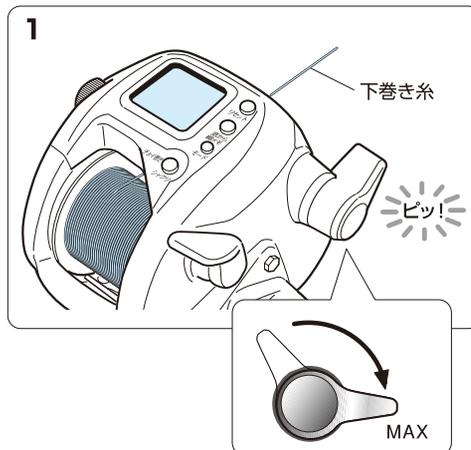
## 道糸をリールに巻きます「下巻き入力」

ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し、下巻き糸を適量まで巻いてください。

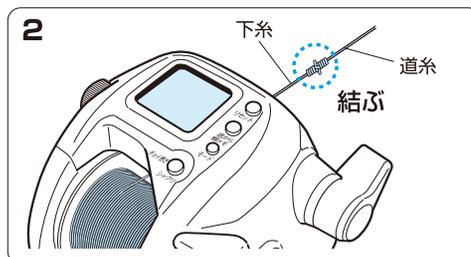
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンを利用して巻きつけてください。

※ドラグを締め付けてください。



2. 道糸と下巻き糸を結び、道糸の色を見ながら残り100mまで巻取ります。

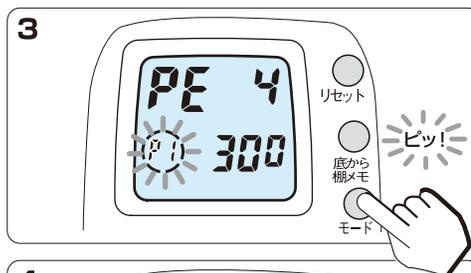
※用意した道糸量が100mの場合は、3へ。



3. **モード** スイッチを5秒以上押します。

(指定入力画面になり **P1** が点滅します。)

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。



4. さらに **モード** スイッチを2回押すと下巻きモードになります。

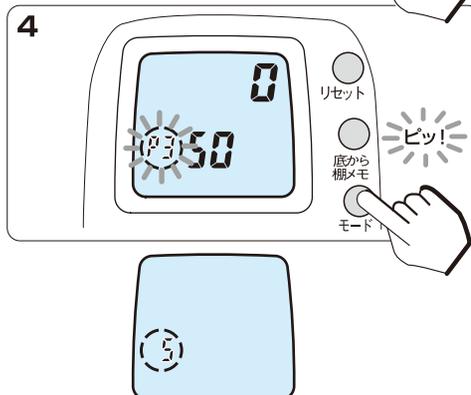
( **P3** が点滅します。)

パワーレバーを倒すとパネル左下の数値がテンション表示に変わります。

巻き取りを始めると、上のカウンターの数値が増えていきます。(スプールの回転数を表示します。)

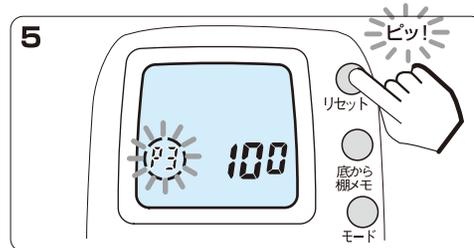
パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらぬようご注意ください。



5. 道糸の色に注意しながら50m巻き取り、**リセット** スイッチを2秒以上押ししてください。

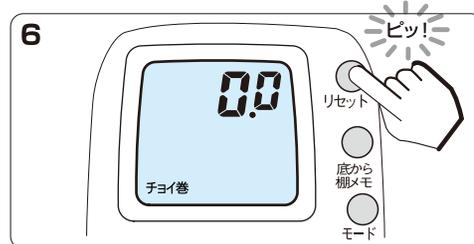
(下の数字が50から100にかかります。)



6. 同様に残りの50m巻き、**リセット** スイッチを2秒以上押ししてください。

(表示が **0.0** になり、完了です。)

※ **Err** になった場合は、糸を抜いて手順3から再度入力をしてください。**モード** スイッチを押せば、**0.0** に戻ります。)



**!**  
**注意**

- ・この下巻き入力で入力した場合は、100mを超える部分の表示精度は保証されません。巻いた糸全体の表示を確実にを行う場合は「指定入力編」か「リールに巻く糸の長さがわかる編」で入力してください。
- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・この入力方法はPE1号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE1~2号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。